

ワンツーワンのダイレクトメール印刷サービス

概要

ダイレクトメールは「不特定多数に一律の情報を提供する」方法から、「特定の少人数に関心のある個別の情報を提供する」方法へと変化が求められてきている。この「ワンツーワン」のダイレクトメール印刷サービスについて、地域企業を対象とした新規事業としてスタートさせる。

取り組みのきっかけ

印刷業界は、従来DM・広告チラシなどの大量印刷が中心だった。また、近年、紙媒体は大きく減少してきている。一方、DMは同一内容を大量発送する方式から、各個人の実態に合わせた内容のものに変わってきている。

地域密着型の印刷会社である同社はその対応を可能にするため、DM代行センターに外注していた業務を短納期と経費節減の実現のため社内対応する必要が出てきた。

取り組みの目標

発注者にとって、ワンツーワンDMサービスは、一般的な広告に比べ開封率・閲読率・反響率が非常に高い点、大量印刷から個別内容の送付のためコスト削減が可能な点、旧来の工程では最短でも校了から2～3日必要だったものが、数時間で仕上げる事が可能になる点等のメリットがある。

以上を踏まえ目標及び実績成果は下表のとおり。

取り組みの内容

先ず個人情報管理が十分である証として「Pマーク」を取得した。取引先からの個人情報を預かり、

そのデータを基にワンツーワンダイレクトメールを社内ですべて完結作成できる体制を目指した。

具体的には、1枚ずつそれぞれの内容で印刷できるオンデマンド印刷機及びフィルム式圧着機の導入である。

取り組みの成果

機器導入の結果、DM代行センターに外注していた業務は内製化でき、コスト削減、短納期、品質向上に大きく貢献した。

コスト面ではDM1枚あたりにつき共通印刷20円＋個別印刷25円＋送料80円＝125円が現時点で既にバリエブル印刷20円＋送料80円＝100円となった。

納期では、従前すべての工程に2日間かかっていたものが、現在では約8時間にて対応が可能となっている。

また、品質では稼働してから現在まで印刷ミスは0であった。

どの機種を導入するかについては、事前調査を徹底的に実施し、3～4ヶ月かけて様々なメーカーのショールームを回り、比較検討の上で機種選定した。また、大手広告代理店と取引できる条件である「Pマーク」取得が可能となったうえで、導入を決

有限会社三鈴印刷

代表取締役 羽場 秀治

所在地：〒513-0825 鈴鹿市住吉町6786-17

連絡先：TEL 059-378-9304 Fax 059-378-1843

E-mail：info@kirei-insatsu.com

URL：http://www.kirei-insatsu.com/

企業情報

従業員数：29人

資本金：300万円

創業：昭和51年7月1日

業種：印刷・同関連業

特色：取引先の要望に対して、スピーディーで柔軟な対応ができる営業及び生産体制が整備されている。

定した。特に圧着機についての研究・検討は時間をかけた。

現状、コロナ禍にあって、旅行会社などへの営業活動は苦戦している。

今後、品質・短納期・コスト面での強みを生かし地域に密着した印刷会社として、カーディーラー、レジャー業界等向けに、顧客の要望に柔軟で迅速な活動を展開していく計画である。

開発製品・技術等のアピール

同社は顧客の短納期、修正要望など、多少無理な要望に対してでも、スピーディーかつ柔軟な対応をモットーとしている。

もちろん、この事業での成果である「ワンツーワ

ンDMサービス」は、強力な武器としてアピールしていくつもりである。

今後の展望

今後は、住宅リフォーム会社、旅行会社など、個別の顧客情報を保有している様々な業界に対して、ワンツーワンDMサービスの有効性を説明して提案営業を展開していこうと考えている。

同社は、印刷業界のブームであったWeb、IT化には惑わされず印刷一本で事業展開をしてきた。

また、地域密着を第一義として営業活動を行ってきている。その基盤があってこそ、「ワンツーワンDMサービス」は痒い所に手が届く商品となり、取引先の発展に寄与する提案ができるものとなる。



オンデマンド印刷機



フィルム式圧着装置



項目	設備導入前	目 標	実 績
コスト	個別にDMを送付しようとした場合、共通部分と個別部分を分けた印刷を行うため、工程が多い分コストも掛かる。 例) 共通印刷20円＋個別印刷25円＋送料80円＝125円（DM1枚あたり）	個別のDMをワンストップで印刷できるため、工程が少なく印刷コストを大幅に削ることが可能。 例) バリエブル印刷20円＋送料80円＝100円（DM1枚あたり）＝ <u>20%のコスト削減が可能</u>	印刷が1枚あたり5.4円、シール圧着が6円となり、送料を考慮しても約9.2円となり、26%の削減ができた。
納 期	従来方法では、共通部分の印刷＋乾燥＋裁断＋個別部分の印刷＋圧着となり、印刷物を乾燥させる時間が伴うため、最低2日かかる	印刷から圧着までワンストップで行うことが可能であり、数量にもよるが数時間で作製が可能になる。 ：納期は1／3に削減可能	印刷から圧着迄、約1時間程度で終了出来ることとなった。
品 質	共通部分の印刷時の検品、個別部分の印刷時の検品と、2回の検品が必要であり、それらは人間の目視による確認＝現実的には見落としでミスも発生	検品装置の導入により、印刷中に自動的に検品される。＝そのため印刷ミスは理論上ほぼゼロ	検品も抜き打ち検査でほぼ大丈夫な状況になり、抜き打ち検査でもミスは0となっている。 （1/1000枚の割合で抜き打ちを行っている）